地域経済分析システム（RESAS）の最新情報

平成29年10月

内閣官房　まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府　地方創生推進室

RESASとは

○地域経済分析システム（2015年4月～）：**R**egional **E**conomy **S**ociety **A**nalyzing **S**ystem

○地方創生のデータ利用の「入口」として、地域経済に関する官民の様々なデータを、地図やグラフ等で分かりやすく「見える化」しているシステム

⇒ 各地域が、自らの強み・弱みや課題を分析し、その解決策を検討することを後押しするツール

○勘や経験や思い込み（KKO）ではなく、データに基づく政策立案（EBPM）へ

メニューの増加

スタート時：25マップ
（2015年4月）

大幅にデータを拡充

現在：81マップ
（2017年2月～）

利用も拡大： 半年間で約451万PV
(2017年4月～9月。１年前と比べて３割増)

利便性の向上（最近のシステム改修）

メッシュ表示の機能改善
・メッシュの濃さを切り替えて、地図を見やすくできるように

活用事例紹介ページ
・RESASサイトに、関連イベントや分析・取組事例の紹介ページを追加

※内容は随時追加予定

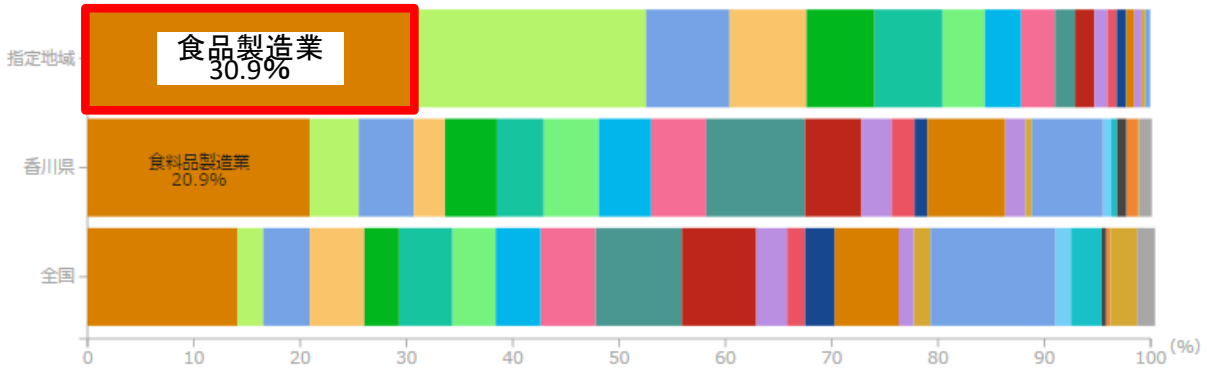
2．地域におけるRESASを活用した分析事例①（事例集より）

香川県観音寺市：食品製造業の課題を、自治体間比較や、データの要因分解を使って分析

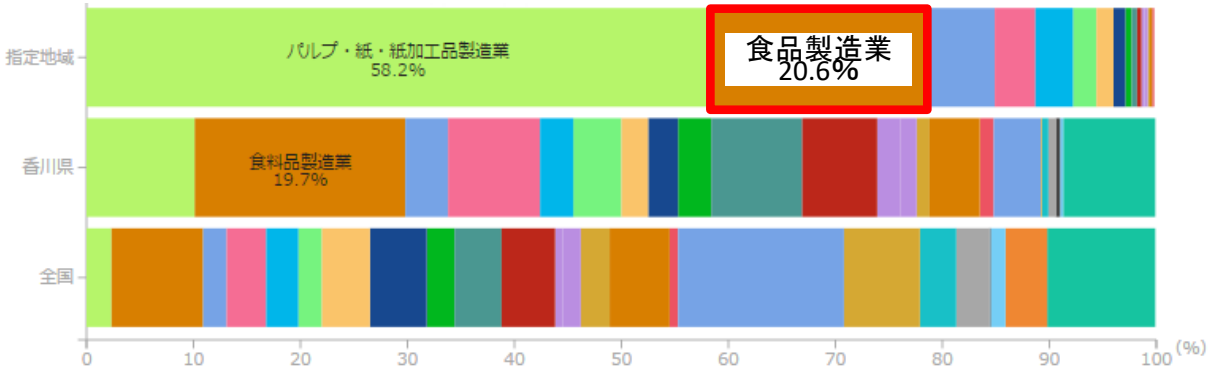
- 食品製造業が産業として集積しているものの、その労働生産性が低いこと（特に本社所在企業）に着目。

製造業

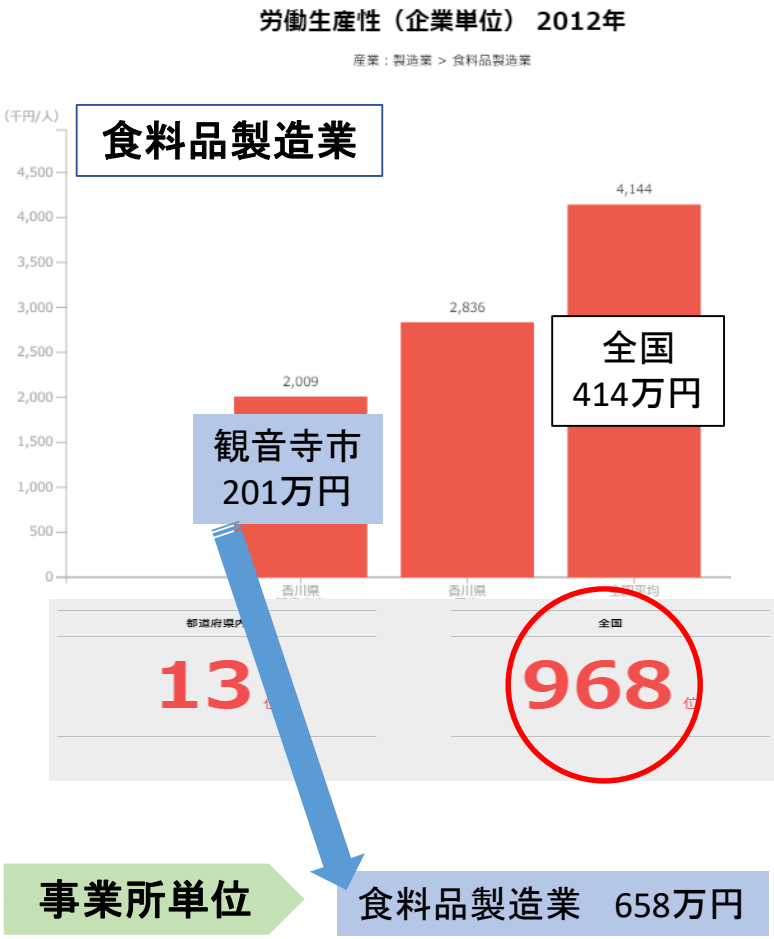
従業者数（事業所単位）2014年



売上高（企業単位）2012年



企業単位



事業所単位

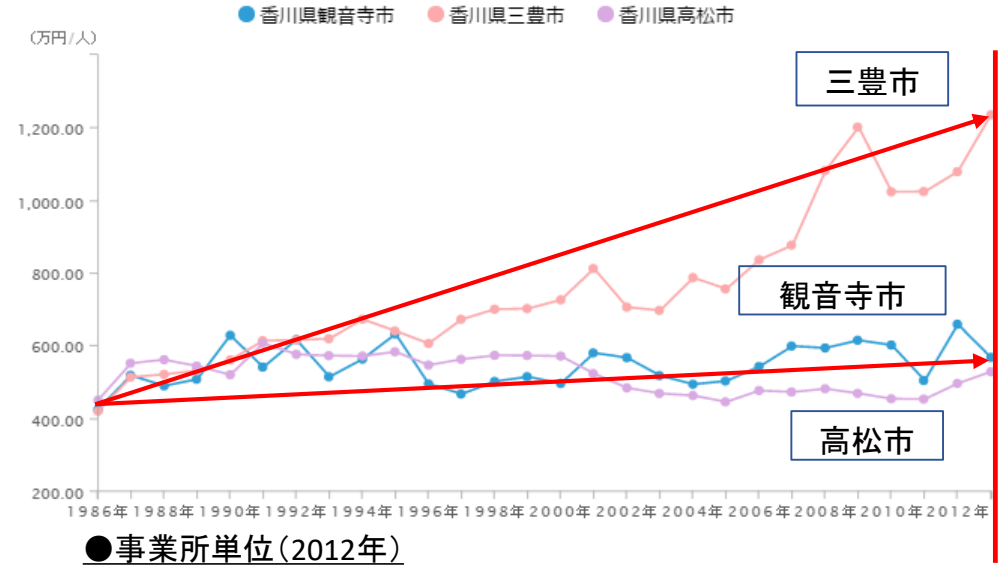
食料品製造業　658万円

出典：経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」 再編加工

2．地域におけるRESASを活用した分析事例①（事例集より）：続き

- 近隣自治体との比較で、生産性の向上に課題があることを把握。さらに、事業所あたりの出荷額の増加で差が生じているという分析にたどり着いた。
- 経営課題の実態調査も行い、販路拡大、ブランド力の向上など、今後の政策対応の方向性を検討中。

食品製造業の労働生産性（実額）の推移



●事業所単位（2012年）
三豊市：1,078万円、 観音寺市：658万円、 高松市：495万円

付加価値額増減率の要因分析（三豊市）

出典： 経済産業省「工業統計調査」 再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

地方経済産業局等によるサポート

是非、ご相談下さい！

○各地方の経済産業局は、自治体等への出前講座・研修や、RESAS分析・政策検討の伴走型支援を実施中。 ※2016年度は、全国で約200件のサポートを実施。

○こうした中から、「政策立案ワークショップ」の実施、具体的な施策立案等につながるケースも。

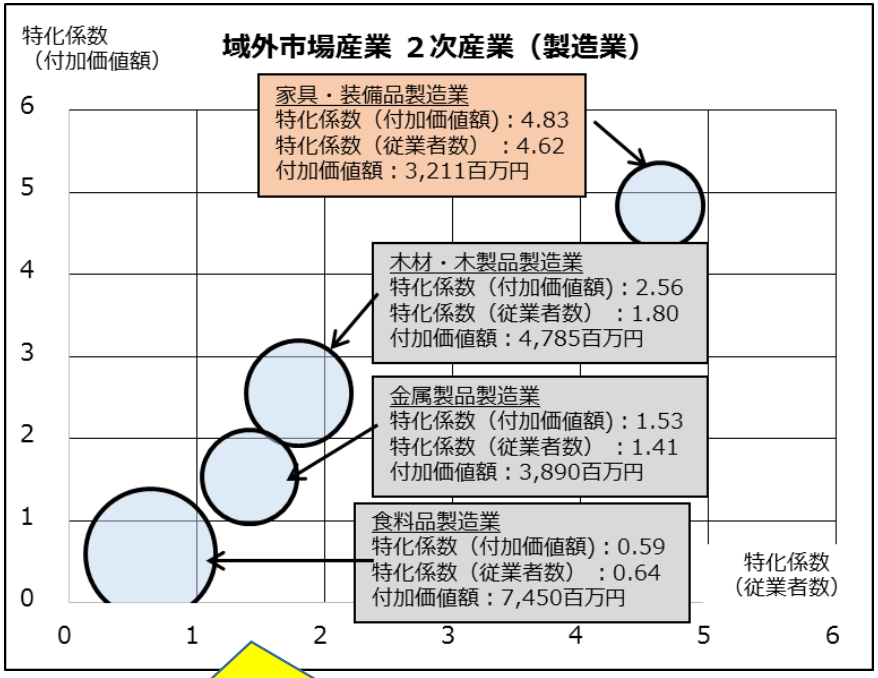
3．地域におけるRESASを活用した分析事例②（事例集より）

（株）北洋銀行：RESASと金融機関データを融合した分析で、企業の稼ぐ力向上を支援

- RESASによる地域中核産業の分析＋財務データを活用した収益性等の分析により、経営課題等を把握し、企業の稼ぐ力向上を支援。
- 例えば、旭川経済圏の中核産業「家具・装備品製造業」は、高付加価値化が進む一方、生産効率に課題。

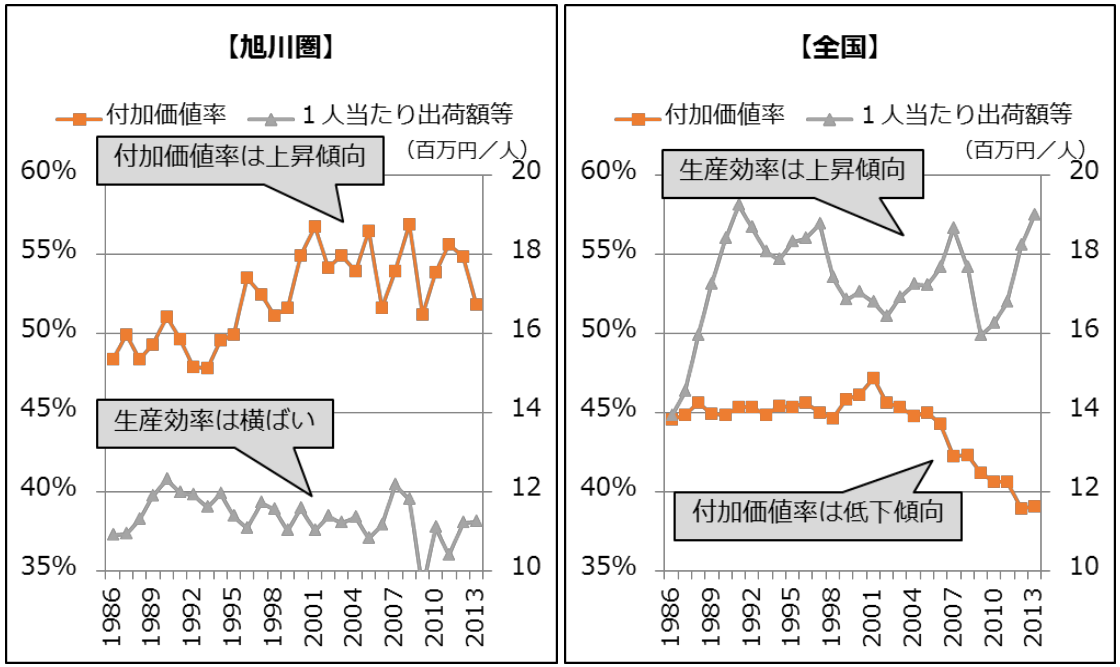
＜旭川経済圏における分析事例（家具・装備品製造業）＞

■地域中核産業の抽出（集積度）



稼ぎ・雇用面から家具・装備品製造業の集積度合いが最も大きい（＝地域中核産業）

■家具・装備品製造業の付加価値率・１人当たりの出荷額等の推移



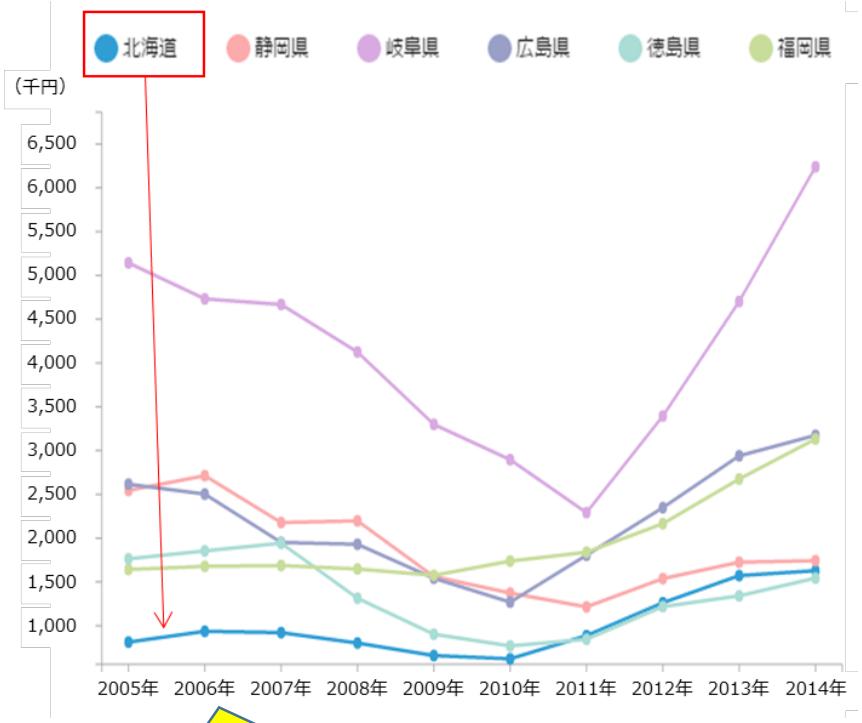
労働生産性（付加価値額÷常用従業員数） ＝ 付加価値率（付加価値額÷出荷額等） × 一人当たりの出荷額等（出荷額等÷常用従業員数）

出典：RESASデータ（経済産業省「工業統計調査」 再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工）を基に再編加工

3．地域におけるRESASを活用した分析事例②（事例集より）：続き

- 他地域に比べて設備投資の水準が低いことが、生産効率の伸び悩みの要因である可能性。また、財務データからは、設備投資の遅れや労務費負担の重さなどの課題を示唆。
- 分析を基に、機械化投資（省力化投資）による生産の拡大や効率化が一つの方向性であると提示。

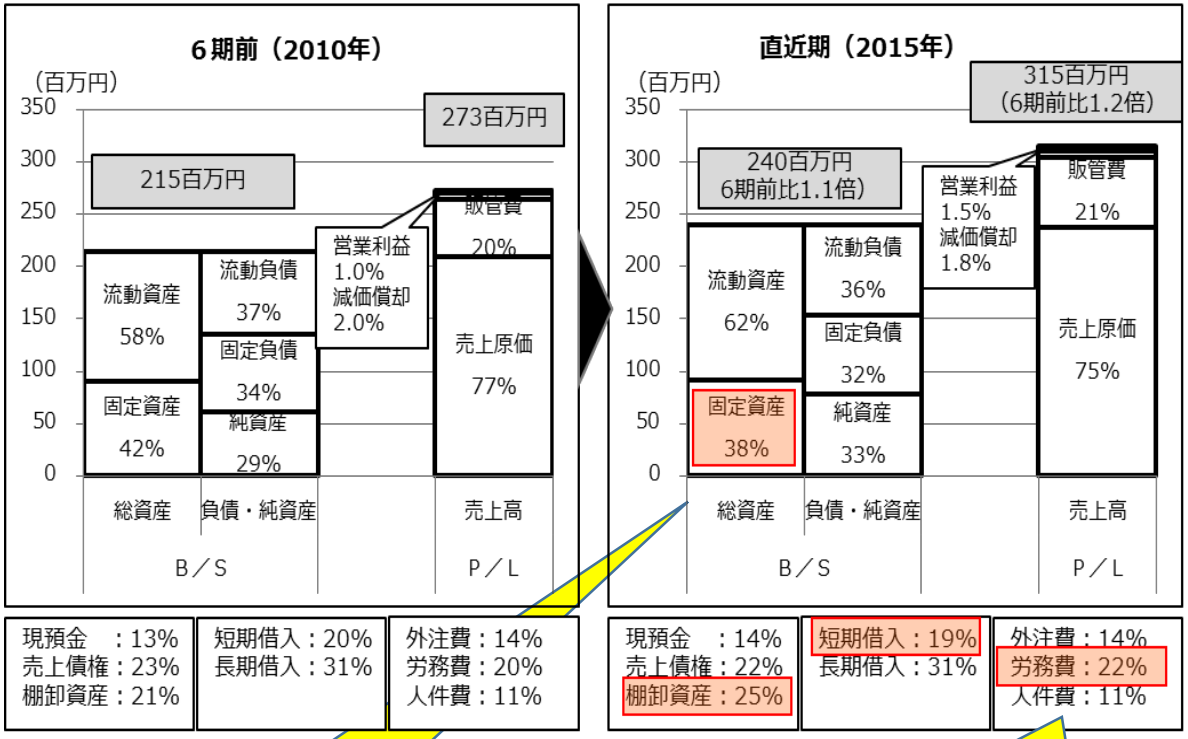
■家具・装備品製造業の設備投資総額の推移
（中小・小規模企業）



家具製造が盛んな他地域と比較すると、
設備投資の水準が低い
→生産効率が上がっていない原因？

出典：RESASデータ（一般社団法人CRD協会）

■旭川経済圏の家具・装備品製造企業15社平均の財務状況推移
（2010年→2015年）



固定資産の比率が低下
→設備投資が進んでいない？

労務費の比率が大きい（全国平均12%）
→生産に人手がかかり、固定費負担増？

出典：独自のデータ及び「中小企業実態基本調査（中小企業庁）」を基に北洋銀行作成

4．地方創生☆政策アイデアコンテスト2017

RESASを活用して自らの地域を分析し、
地域を元気にするような政策アイデアを国民から募集

○募集区分：高校生以下・中学生以下の部／大学生以上一般の部
○募集期間：2017年9月1日（金）～ 10月25日（水）
○最終審査会＆表彰式：2017年12月16日（土）
（会場：東京大学 伊藤謝恩ホール）

【参考】昨年度コンテストの受賞提案の例：その後の取組

福岡県糸島市（2016コンテスト：大学生以上一般の部　地方創生大臣賞）

- 市職員の岡氏の提案である糸島市産品の販路開拓や広告宣伝、商品開発は、同市の「糸島市マーケティングモデル推進事業」において一体的に実施中。
- 第一弾商品として「JF糸島ふともずく」を発売（2017年4月）。福岡県内の企業や高校と連携し、販路開拓や広告宣伝を推進していく。

市・高校生・生産者で営業・販売先の検討ワークショップを実施

北海道小樽商科大学大津ゼミ（2016コンテスト：大学生以上一般の部　優秀賞）

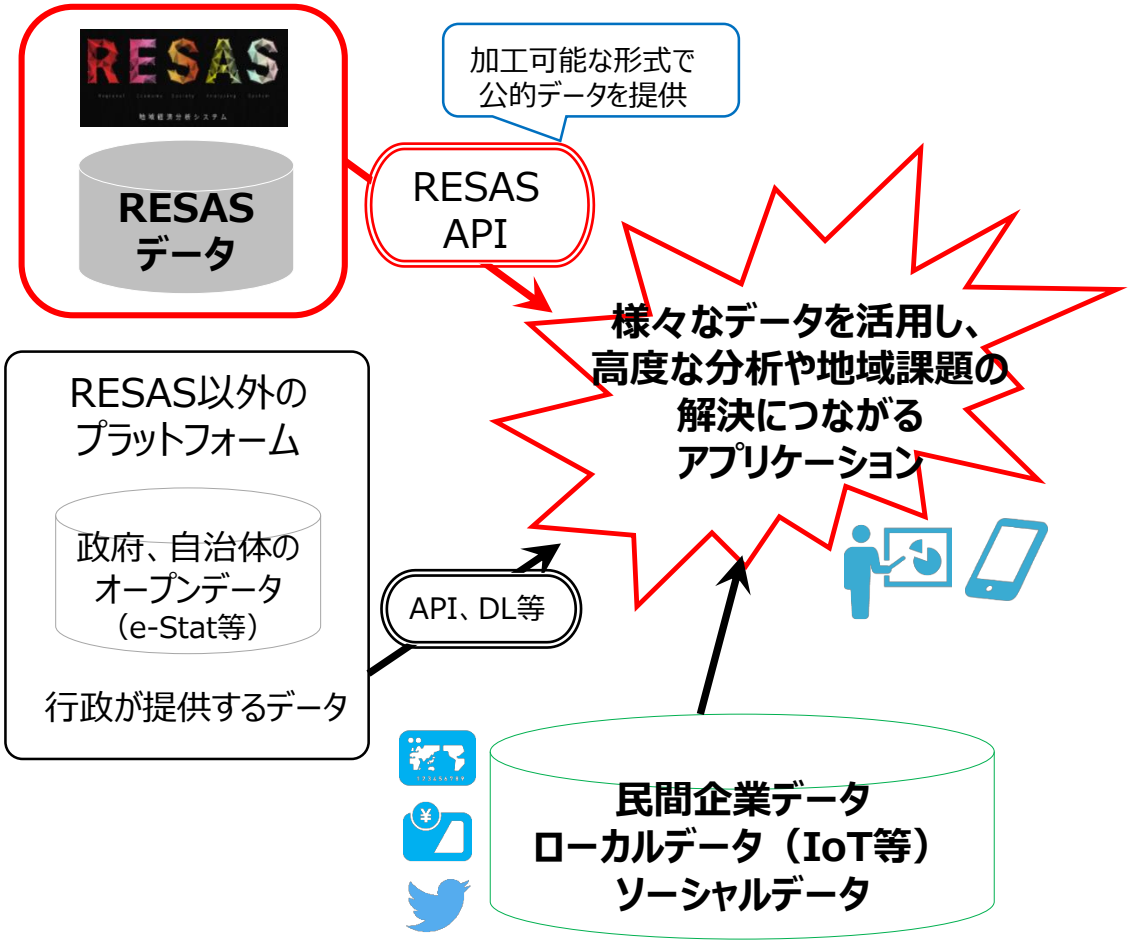
- 分析対象地域である岩内町における地方創生フォーラム（2017年3月）において、RESASを用いた分析の結果と政策アイデアを披露。
- 政策アイデアの１つである「“トッテオキ“のニシン缶」の商品化に向け、現在、地元の水産加工事業者・岩内町・北海道銀行と産学官金で連携。食育団体や、味・栄養品質・パッケージデザイン・製品プロモーションの専門家とも打ち合わせつつ、今年中の商品化（試作品）を目指している。

岩内町内の水産加工事業者加工場の見学

5．RESASアプリコンテスト（第2回）

「地域経済分析システム(RESAS：リーサス）」について、以下のアプリケーションを募集するコンテストを実施。
（１）RESAS-API（※）を使用し制作したアプリケーション
（２）RESASを用いて実施した分析結果及び独自データを用いて制作されたアプリケーション
（例： IoTのセンサーデータ、市町村や観光協会などが収集した地域データ等）

※ API: Application Programming Interface



参加登録
インターネット経由で応募

受付期間：10月20日～12月20日

第一次審査
最終審査会に進出する１０組を選定（書類・動画）

ファイナリスト１０組

最終審査会【プレゼン審査】

- 審査委員の前でプレゼンテーションを行い、
  最優秀賞１組、優秀賞１組を選出（予定）
- 協賛企業賞を最大10社(予定)
- 日時：平成30年1月27日(土）午後

※全国でRESASハッカソンも開催

6．ひなたGIS（地理情報システム）の概要

ひなたGIS（地理情報システム）

- 地域の様々なデータを地図上に重ね合わせることができる統合型地理情報システム。【宮崎県情報政策課が開発】
- 平成29年3月の内閣府開催「RESASアプリコンテスト」で最優秀賞を受賞。平成29年5月12日にHPで一般公開。

1　特徴

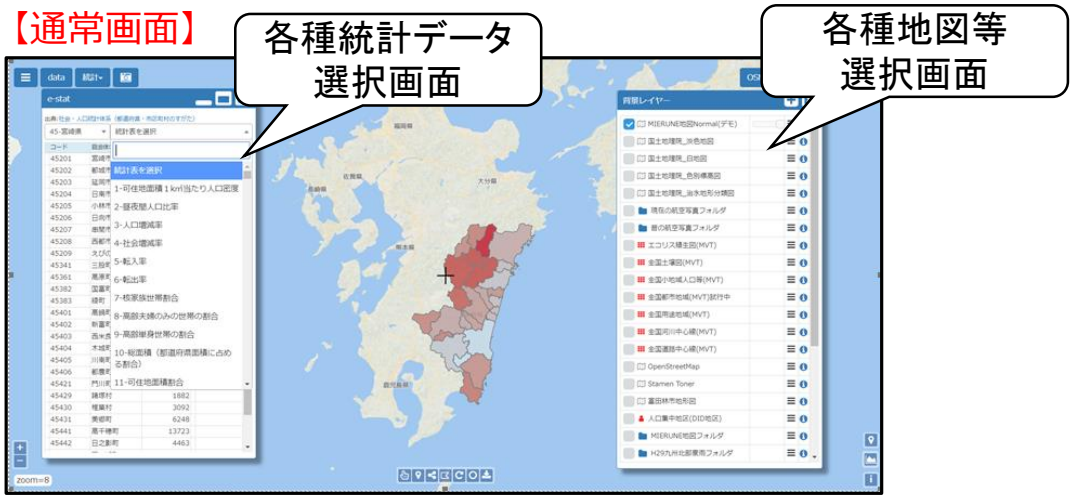
（１）簡単操作で統計データを地図上で見える化（RESASデータを含め約5,000件の統計データを掲載）
（２）航空写真や古地図などマッピングする地図の選択が可能
（３）２画面機能を搭載。時系列の地図を比較しながら新・旧の状況を分析が可能

2　活用実績

・九州北部豪雨（平成29年7月）への対応の際、災害後の航空写真を本システムに取り込んで公開し、２画面機能を使って被害前後の状況を確認できるようにした。
・実際に、福岡県東峰村などの自治体職員が現場の被害状況の把握に活用。

3　画面イメージ

【通常画面】



出典：宮崎県「ひなたＧＩＳ」

【２画面機能】

出典：国土地理院のヘリ撮影画像をひなたＧＩＳ上で表示したもの

7．RESASの機能の更なる改善予定

RESASをより便利に利用できるよう、以下のシステム改修を実施予定

※画像はすべてイメージです

地図上の検索機能追加

- RESASの地図画面で、施設や住所を検索出来る機能を追加する。検索した地点は保存も可能
- 例えば、外国人が集まるエリアの地図データ上で、主要施設の位置も表示することで、より分析しやすく

画面キャプチャ機能追加

- RESASのグラフやマップをより簡単にキャプチャで取得できる機能を追加する（Google Chromeに対応予定）
- 資料作成がよりスムーズに

合算・比較地域の登録機能

- 合算・比較に使用する複数の地域をあらかじめ登録でき、後から簡単に登録地域のデータ合算・比較ができる機能を追加する
- 例えば、合算して分析したい周辺の複数自治体のデータの事前登録が可能に

読み込み速度の改善

- 画面の読み込み速度を現在よりも改善する